AI-OCR 識字率　サンプル帳票

１．サンプル帳票

サンプル帳票を AI-OCR で読取を行い、それぞれの識字率を提案書に記載すること。また読み取りできない部分、誤読する部分について提案書に記載すること。
サンプル帳票は以下の 2 種類とし、PDF 形式で提供する。

サンプル帳票 A（読取文字数　77 文字）・・・種類別明細書（増加資産・全資産用）
サンプル帳票 B（読取文字数　204 文字）・・・介護給付費算定に係る体制に関する届出書

２．識字率

・識字率については以下の方式で表記すること。
　識字率＝　正読文字数/読取文字数　で算出すること。
　識字率は小数点 2 位以下切り捨てで表記すること。
　（例）　70 文字/77 文字 =90.9%

・読取指定していない線等を文字として認識してしまう場合以下のように表記すること。
　（例）　77 文字のところ、線を 1 として誤読して 78 文字になったケース
　誤読した文字数を正読文字数から差し引いて計算を行う。
　（例）　76 文字/77 文字 =98.7%

・読取結果が以下のように各レコードごとに出力される場合も重複して計算せず、以下のとおり計算する。
　「"91038445","石岡市役所","1","00001",・・・・」
　「"91038445","石岡市役所","6","00006",・・・・」
　「91038445」で正読 8 文字/読取 8 文字、「石岡市役所」で正読 5 文字/読取 5 文字

３．読取設定

・読取範囲・設定は任意とする。
・ユーザ辞書機能等、文字そのものを登録または変換し識字率を上げることは禁止する。